

デジカメと プロジェクター（テレビ）の

コラボレーション



ーパソコンだけがIT活用じゃないー

最近のデジタルカメラの機能は、単に“写真を撮る”だけではなく、“ビデオ出力”ができる機種があります。今回は、「撮る」「映す」+「保存」を様々な授業で活用します。

授業の中で教科書や資料を紙メディアを児童に説明したり提示する場面があります。

その時、一々ことばや身振りで説明することより、**大きく拡大して“見せる”**ことで子どもたちが学習内容をより理解しやすくすることができるのではないかと考えました。

パソコンや教材提示装置のどちらを使う場合と今回のデジカメを使う場合の目的や効果に違いはありません。

大きく違うキーワードは、**簡単さ** と **機動性** です。

「簡単さ」では、

デジカメをプロジェクターに接続するだけです。

あとは、デジカメの撮影モードと表示モードを切り替えて使うだけです。

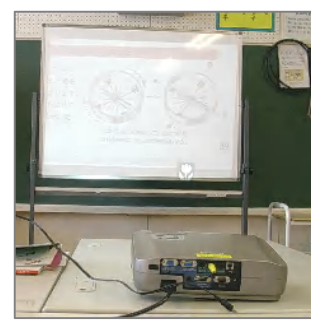
「機動性」では、

表示する場合はAVケーブルと接続しますが、撮影はデジカメを教室内どこへでも持ち運んで使えます。

特に、机間を回っている時など児童のノートや作品を即座に撮影したりでき、教室内で機動的に使えます。



デジカメ と プロジェクタ



●必要なデジカメ機能・機材

マクロ（接写）機能

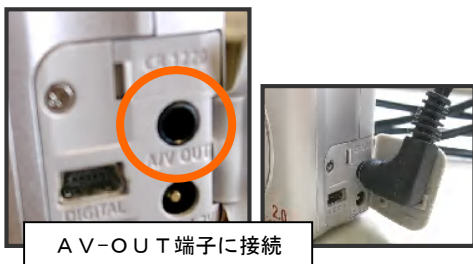
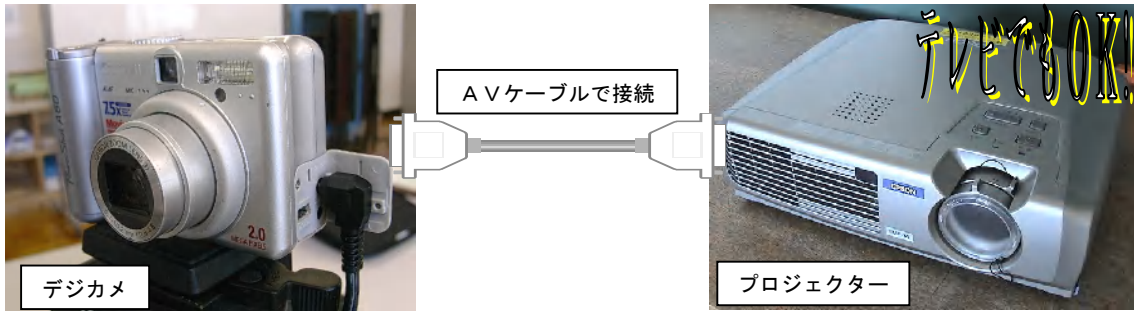
ビデオ出力端子（AV-OUT、AV-出力）

カメラ用AVケーブル（機種ごとに専用のケーブルが附属）

延長AVケーブル

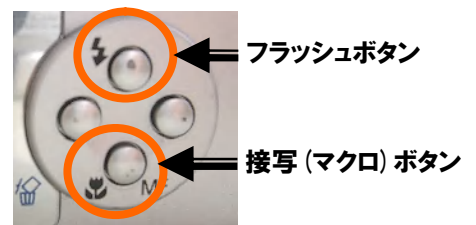
（映像信号線と音声信号線が一緒になっているケーブル）

●構成イメージ



●使い方—教科書(資料)の撮影—

1. デジカメとプロジェクターを接続
2. それぞれの電源を入れます
 - ①カメラの設定を 撮影モードにします
 - ※スクリーンにカメラ映像が映りますか
 - 映らなければプロジェクターの設定を確認
 - ②接写(マクロ) ボタンを押します
 - ※フラッシュは使わないようにします
2. 教科書に近づけて撮影 パシャリ！
 - ※ピント合わせはシャッターを軽く押します
3. 撮影された映像が数秒画面に表示されます
4. デジカメを 表示モードにします
5. 先ほど撮影した写真がスクリーンに映し出されます



+α使い方

机巡回の時

子どもたちがノート記入や作業を行っているときなど
 “これは使える”といったものがあれば、即座に撮影
 まとめの時などにAVケーブル(プロジェクター)に接続して表示します。

動画の利用 15秒程度のビデオも撮影・映写OK

ここがポイント

撮影した画像はメモリーカードに保存されています。

つまり、

- ・授業の記録としても使えたり、
- ・再利用が出来る点 です。

